

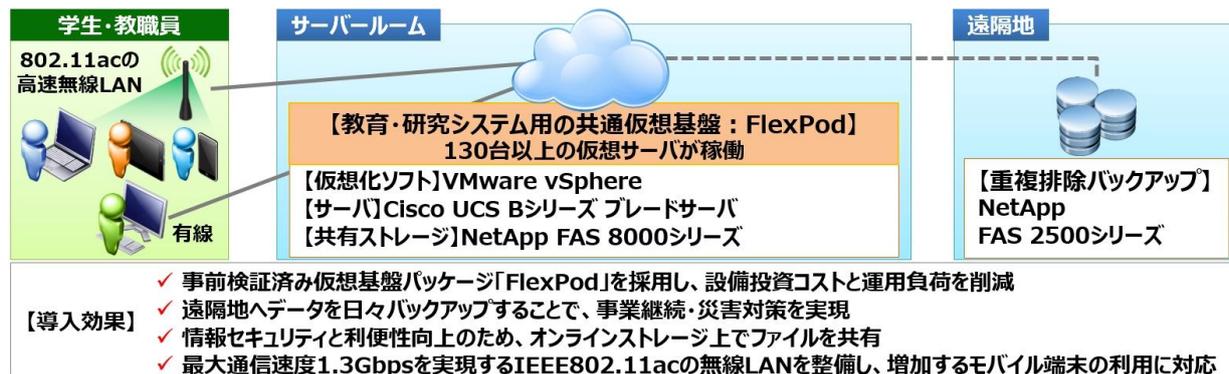
ネットワンシステムズ、宮崎大学の学生・教職員約 9,000 人が利用する 教育・研究システム用の共通仮想基盤を構築 南海トラフ地震を想定し、遠隔地へのデータバックアップで災害対策も実現

～情報セキュリティと利便性向上のため、オンラインストレージ上でファイルを共有
増加するモバイル端末に対応するため学内無線 LAN のエリアを拡大して高速化～

ネットワンシステムズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：吉野 孝行、以下 ネットワンシステムズ）は、国立大学法人 宮崎大学（所在地：宮崎県宮崎市、学長：池ノ上 克、以下 宮崎大学）の学生・教職員約9,000人が利用する、教育・研究システム用の共通仮想基盤および南海トラフ地震を想定した遠隔地へのバックアップシステムを構築しました。この環境は本年4月から稼働しています。

宮崎大学は、130台以上の仮想サーバが稼働するこの共通仮想基盤に、事前検証済み仮想基盤パッケージ「FlexPod」を採用することによって、従来利用していた仮想基盤と比較して初期投資コストと運用負荷を削減しています。また、遠隔バックアップでは、対象データが約70TBもの大容量にもかかわらず、差分データの抽出と重複排除を併せて適用することによって容量を劇的に削減し、日々のバックアップを実現しています。

さらに、学生・教職員の利便性向上の側面では、時間と場所を選ばずに利用者間でファイルを共有できるオンラインストレージを導入しました。これは情報セキュリティの強化を図る目的でもあり、USBメモリ等の外部媒体を極力使わないことで、紛失事故等を防ぐ手段の1つとして有効に利用しています。また、増加するモバイル端末の利用に対応するため、最大通信速度1.3Gbpsを実現するIEEE802.11acに対応した無線LANアクセスポイントと、そのパフォーマンスを最適化する無線LANコントローラーを採用することで、講義棟無線LANのエリア拡大と高速化も実現しています。



■ 背景と課題

宮崎大学は、2014年度～2019年度を対象とする「情報化推進計画」を策定し、1.セキュリティ強化、2.情報基盤の整備、3.情報共有、4.組織・人材育成に取り組んでいます。情報基盤の整備では、利便性・可用性・業務効率を改善し、災害時の事業継続性を向上するため、最新技術を活用した共通仮想基盤を整備するとともに、遠隔地へのバックアップシステムを構築することにしました。

■ 共通仮想基盤の特長

これに対してネットワークシステムズは、「FlexPod」を提案しました。これはネットワークシステムズが豊富な導入実績とノウハウを持つVMware / Cisco / NetAppの製品を組み合わせた事前検証済みの仮想基盤パッケージです。

「FlexPod」の採用によって、従来利用していた仮想基盤と比較して、初期投資コストを軽減するとともに、各社の製品を連携させて物理・仮想環境双方を一元管理可能にすることで運用管理負荷も大きく低減しています。また、省スペース・省エネルギーも実現しています。

特に、従来はデータ容量が逼迫していたため、仮想サーバが利用するストレージ容量を管理者が細かく調整する必要があるとともに、その調整作業が複雑だったことから運用負荷が高くなっていました。これに対して今回の仮想基盤では、重複排除機能によって効率的なストレージ利用を実現し、容量を簡単・柔軟に変更できる仕組みも整えており、運用負荷を大きく削減しています。

また、システムの可用性を高めるために、障害発生時には、物理環境と仮想環境の連携によって迅速にサービスが自動復旧するとともに、サーバメンテナンス時も停止することなくサービスが継続する仕組みを整えています。さらに、災害時の事業継続対策として、ファイルサーバの全データ約70TBを対象に、毎日、遠隔地のデータセンターへバックアップしています。

今後、このバックアップ先のデータセンターに公式Webのサーバを設置し、災害時でも情報発信を継続できる体制を整備する予定です。

■ 主な導入製品

- 仮想化ソフト：VMware vSphere
- サーバ：Cisco UCS Bシリーズ ブレードサーバ
- 共有ストレージ：NetApp FAS 8000シリーズ
- 遠隔バックアップ用ストレージ：NetApp FAS 2500シリーズ

■ お客様のコメント

宮崎大学情報基盤センター様から以下のコメントを頂いております。

「今回の情報基盤整備では、急速に進化する情報通信技術に対応し、高等教育にふさわしい先進的な情報環境を提供することを意識していました。さらに、災害時の事業継続性への取り組みや情報セキュリティ強化も大変重要な要素でした。ネットワークシステムズは非常に高い技術力でこれらを実現し、さらに基盤構築は想像以上にスムーズかつ迅速でした。今後も、学生・教職員の利便性

に寄与する情報基盤の整備を続けたいと考えています。」

国立大学法人宮崎大学について

宮崎大学は、1949年に農学部・学芸学部・工学部からなる大学として発足しました。その後、2003年に旧宮崎大学と旧宮崎医科大学が統合し、新「宮崎大学」が設置されました。2004年より国立大学は法人化され、現在では約9,000名の学生・教職員が在籍し、4学部と大学院研究科を備える大学として運営されています。詳細は <http://www.miyazaki-u.ac.jp/> をご覧ください。

ネットワンシステムズ株式会社について

ネットワンシステムズ株式会社は、お客様の情報インフラを最適化することで戦略的な情報活用を促進し、ご導入頂くお客様の先のお客様への貢献も見据えて支援する企業です。そのために、常に世界の最先端技術動向を見極め、その組み合わせを検証して具現化するとともに、実際に自社内で実践することで利活用のノウハウも併せてお届けしています。

(設立：1988年2月、売上高：1,431億73百万円〔2015年3月期連結〕)

詳細は www.netone.co.jp をご覧ください。

※記載されている社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

<本件に関する報道関係各位からのお問い合わせ先>

ネットワンシステムズ株式会社 広報・IR室：西田武史

Tel：03-6256-0616 / E-mail：media@netone.co.jp